



平成20年8月8日

各位

東京都文京区本郷二丁目38番18号
株式会社カイノス
代表取締役社長 中村利通
(JASDAQ・コード:4556)
問い合わせ先
責任役職者 専務取締役管理本部長
氏名 徳永孔志
TEL (03)3816-4123

平成21年3月期業績予想の修正に関するお知らせ

平成20年5月22日付の当社「平成21年3月期業績予想の修正に関するお知らせ」で発表いたしました平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)の第2四半期累計期間および通期の業績予想を修正いたしましたので下記の通りお知らせいたします。

記

1).平成21年3月期第2四半期累計期間業績予想(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	1,840	13	2	178
今回修正予想 (B)	1,771	30	38	182
増減額 (B)-(A)	69	43	40	4
増減率 (%)	3.8	-	-	2.2
(ご参考)前期実績 (平成20年3月中間)	2,056	60	46	18

2).平成21年3月期通期業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	3,752	45	15	184
今回修正予想 (B)	3,671	32	5	205
増減額 (B)-(A)	81	13	10	21
増減率 (%)	2.2	28.9	66.7	11.4
(ご参考)前期実績 (平成20年3月通期)	3,959	53	33	4

1. 修正の理由

当社は、第1四半期において当期の計画達成を目指しPOCT分野への積極的な営業展開を推し進める一方、免疫分野における共同開発成果と花粉の飛翔量増加によるアレルギー診断薬の売り上げ拡大を柱とした事業活動を展開してまいりました。

第2四半期以降におきましても、市場における価格競争は更に激しさを増すものと予想いたしております。当社の第2四半期における業績見込みにつきましては、生化学及び免疫分野の新製品の発売時期が開発の製品化段階の遅れにより、第4四半期にずれ込む見込みとなり、平成21年3月期の第2四半期累計期間及び通期予想を修正しております。

この発売時期等の遅れによる影響額は、売上高では6千万円、営業利益及び経常利益では2千万円と予想しております。

この変更により、第2四半期累計期間につきましては、売上高では6千9百万円減の17億7千1百万円、営業利益では4千3百万円減の 3千万円、経常利益では4千万円減の 3千8百万円、四半期当期純利益では4百万円増の1億8千2百万円となる見込みです。

また、通期予想におきましても上記の影響により、売上高では8千1百万円減の36億7千1百万円、営業利益では1千3百万円減の3千2百万円、経常利益では1千万円減の5百万円となり、当期純利益につきましては、2千1百万円増の2億5百万円となる見込みです。当期純利益につきましては、平成20年5月22日付「平成21年3月期業績予想の修正に関するお知らせ」で既にお知らせしたとおり第1四半期における株式譲渡益の計上及び予想税額の見直しによるものです。

今後におきましては、当初の業績確保に向けて経費節減を図るとともに、生化学分野をはじめ免疫分野及びPOCT分野における売上拡大に注力し、今期の重点課題としております共同開発による事業展開を積極的に推し進め業績の回復に努めてまいり所存であります。

以 上